富山県立氷見高等学校DX加速化推進事業に関する業務委託に係る公募型プロポーザル　審査基準

	審査項目	提案依頼事項	審査基準	配点
1	類似業務の納入実績	・学校、地方公共団体、民間企業等における同様のサービスの提供実績、内容について記載すること。	・本業務を遂行し、目的を達成するために有益な知見、ノウハウを有しているか。	5
2	目的達成のための考え方	・県が策定した人材育成指針の実現のために必要な研修内容を提案すること。	・学校が考えている本事業におけるねらいを理解し、その実現が可能な講義内容となっているか。 ・生徒向け講座（DX/情報Ⅱ/マーケティング）、教員研修、無人販売店のシステム導入（決済・セキュリティ）の ３領域に専任担当を配置し、責任者・連絡体制・バックアップ要員が明確になっているか。	10
3	スケジュール	・全体スケジュールが適切であること。	・DX研修について、研修と実践を繰り返すことで、スパイラルアップ的に取り組みが推進できる実施サイクルになっているか。 ・授業回数・時間数が明記され、プレゼン資料・仕様書との整合が取れているか。	5
5	企画内容 （DX推進実装プログラム：講座 × 実運用 × データ分析）	・無人販売所を核に、入退店・決済・セキュリティまで含むDX実装計画を学科横断で示すこと。Web制作、SNSの通常投稿＋有料広告運用、KPI設定と月次報告、教員研修、個人情報保護方針、再現性ある成果物を提示すること。	・計画の具体性・実現可能性、KPI（指標・目標値・測定方法・報告頻度）の妥当性、学科横断・地域協働の実効性、Web／SNS／決済等の実装運用体制の整備度、成果物の再現性・汎用性、個人情報保護等の適切性、業務体制の有効性、費用対効果。	50
6	自由提案		・仕様書記載項目以外で有用な独自提案があるか。	10
7	運営体制	・当該業務に関わる体制が適切であること。 ・運営に当たって、学校や関係者との調整能力に期待できること。 ・誠実な業務遂行が期待できること。	・研修実施に関するロジ関係について教員の負担が軽減されるか。 ・オンラインでの研修とする場合、操作に不慣れな職員へのフォローが十分期待できるか。 ・地域連携の際の役割分担等が明確になっているか。	10
8	見積金額	・見積金額は適切に積算されていること。 ・当該金額で全ての業務が実施できること。	・（提案価格のうち最低価格/応募者の提案価格）×10	10
			合計	100